

守谷ボランティア NEWS

2025年6月号 (毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320
Email: supportcenter@moriya-cac.org
ホームページURL: <https://moriya-cac.org/>
開館時間: 午前9時～午後5時 (午後8時まで延長可)
休館日: 月曜日、年末年始

つるし飾り初心者講座受講者募集

かわいらしい「つるし飾り」を一緒に楽しく作りませんか。
毎回つるし飾りの小物を1個完成させます。

- 日時 6月20日(金)～令和8年1月までの第3金曜日 (全8回)
13:00～16:00
※第4火曜日に変更の場合あり。スケジュール表は別途ご連絡します
- 定員 先着20人 ●会場 市民活動支援センター会議室
- 参加費 各回1,000円(材料費)
- 持ち物 洋裁道具一式(はさみ、絹針、赤・生成の絹糸)
- 申込方法 6月30日(月)までに、電話で申し込む
- 主催・申込・問合せ先 守谷ひなまつり実行委員会
堀込 ☎48-1196



【講座日程】

6月	七宝マリと6色ふうせん
7月	たけのこ
8月	せみ
9月	着物
10月	うま(来年の干支)
11月	いずめっこ
12月	たちばなとももの花
令和8年1月	仕上げ(リング作り)

わたし色セラピー ～色が教えてくれる、わたしのころ～

色は私達のころを映し、様々な気持ちに気付かせてくれます。色のカードを使って、自分をやさしく見つめ直すカラーセラピーを体験しませんか。今の自分を知り、心を癒す2時間!

- 日時 7月12日(土) 10:00～12:00
- 会場 市民活動支援センター 会議室
- 定員 先着10名
- 参加費 2,000円
- 講師 遠藤ひろこ氏 (公認心理師、アドバンスカラーセラピスト&ティーチャー)
- 申込方法 7月5日(土)までにメールまたはInstagram DMから申し込む
- 主催・申込・問合せ先 傾聴ボランティア 楽ハート☎
rakuheartmry@gmail.com



「花だより」

花の写真を展示しています。小規模の展示会となりますが、皆さんおそろいでいらしてください。

- 期間 6月13日(金)～22日(日)
- 会場 市民活動支援センター フリースペース
- 主催 フォトクラブ四季
- 問合せ先 村田 ☎090-5395-2567



登録団体活動情報 6月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
手話サークルふれあい 手話の学習・交流	中央図書館・中央公民館	毎週金曜日 10:00～12:00	川畑 090-6500-0266
守谷駅前クリーンズ 守谷駅前ゴミ拾い	守谷駅西口広場 (階段下集合)	第3日曜日 8:00～9:00	会田 090-3335-7227
フォトクラブ写遊 写真展、撮影会の開催	中央公民館	第4土曜日 9:00～16:00	金澤 080-5508-6081

助成金情報 *内容は変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

医療・福祉	～6/30 つなぐ助成 公益財団法人 つなぐのち基金 https://tsunagu-inochi.org/
環境	～6/30 第36回緑の環境プラン大賞 公益財団法人 都市緑化機構 https://urbangreen.or.jp/
地域活動・まちづくり	～6/30 一般財団法人YS市庭コミュニティー財団助成金 一般財団法人 YS市庭コミュニティー財団 https://ys-ichiba.org/index.html

豆コラ デジタル認知症とは、デジタル機器に過度に依存することで、記憶力や集中力、思考力が低下する現象を指します。スマホに表示される大量の情報を処理するために、脳がフル稼働することで、脳の疲労が蓄積されるのです。脳が「情報を記憶せず、検索に頼る」状態になっています。対策方法は、スマホと距離を置く時間を作ることです。その一つとして、人と話す機会を増やすことがあります。会話を通じて「笑う」「共感する」「驚く」などの感情を共有することで、脳の「報酬系」が刺激されます。これは、認知症の進行を抑える神経伝達物質の活性化にも関係します。SNSのメッセージでは、相手の表情や声のトーンが分かりません。微妙なニュアンスや空気感も感じ取れず、勘違いによるストレスが掛かることもあります。デジタル機器を上手に活用し精神的、社会的な健康を保ちましょう!



こんにちは！守谷のボランティアさん

ブルーベリーファーム蝶むすび

2025年4月 @市内畑

2024 (R.6) 年4月に設立した新しい団体「ブルーベリーファーム蝶むすび」取材してきました。「蝶むすび」という名前の由来はご祝儀袋の水引の蝶結びからです。①「結ぶ」ことで人と人を結ぶ、居場所づくり ②結び目は何度でも結び直せることから、人生も何度でもやり直せる ③「蝶」は植物の成長サイクルの中で重要な役割をしていることなどの意味を込めて名づけたそうです。

メンバーの多くはミドル世代の女性です。市内の耕作放棄地を利用してブルーベリー畑にしようとして初めての農作業に奮闘中。選んだ理由は比較的簡単だし、目に良く、美味しいなど単純なきっかけです。植樹する際に本で調べると、ブルーベリーの木は低木で、成長した木の隣同士の枝を繋げてトンネルのように植えることもできると書いてあり、子どもたちや高齢者、車いすの方なども収穫を体験してもらえるのでは…と考えました。



具体的な活動は主に毎月第一月曜日の早朝に草取りです。毎回ごみ袋5袋ほどになります。メンバー内で「朝活」と呼び、お喋りしながら楽しんでいます。先日はWAらぼ（センター登録のボランティア団体）の方がお手伝いに来てくれ早速、団体どうしの連携ができました。



作業を始めると、本だけではわからないことも出てきました。実際にブルーベリー農家さんに聞いてみたいということになり、昨年の12月、常総市にあるブルーベリー農家へ視察に行き、土壌作りや鳥よけネットのこと、花芽摘みをすることなどを教えてもらいました。収穫できるようになるまでは苗木を大きくするため、花芽を摘んで実がならないようにします。あと2年は収穫イベントができず、準備期間となります😞



<視察：常総市ブルーベリー畑>

また、2024年度もりや公益活動助成金二次募集を受けて6本だった苗木を徐々に増やし、今では24本になりました。



<花芽摘み>

<土壌作り>

今後はブルーベリー収穫時期に常総市の農家さんの所で収穫体験をしたいと考えています。また、蝶むすびの畑も見てもらい、指導をお願いしたいです。収穫できるようになったら多様な団体と連携した収穫イベントを企画し、長期的計画では加工、販売など構想は広がります。農作業、土いじりをする事でリラックスした時間を過ごしています。他団体との交流から新しい価値観と出会うこともあり、私たちのサードプレイスになっていると話していました。

<守谷市民活動支援センター>